

長野工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	応用国語（IE）	
科目基礎情報							
科目番号	0092			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	工学科（一般科目：全系共通）			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：『高等学校 論理国語』（第一学習社），『高等学校 文学国語』（第一学習社） 副教材：『LT現代文3』（浜島書店），『常用漢字ダブルクリア四訂版』（尚文出版），『カラー版新国語便覧』（第一学習社），国語辞典（電子辞書でも可）						
担当教員	小池 博明						
到達目標							
高等学校卒業程度の現代文の国語力を身につけることで，学習・教育目標（A-1）の達成とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論理的文章の読解能力	論理的文章の論理の展開を理解し，要旨を把握することができる。			論理的文章の文意を理解できる。		論理的文章が理解できない。	
文学的文章の読解能力	文学的文章ついて，書き手の意図を理解することができる。			文学的文章の場面や情景を想像でき，登場人物の心情を理解することができる。		文学的文章が理解できない。	
表現する能力	自らの語彙を知的好奇心をもって，積極的に増やし，自分の意見・主張を効果的に表現できる。			基本的な語彙を理解し，自分の意見・主張を表現できる。		基本的な語彙力がなく，自分の意見・主張を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
A-1							
教育方法等							
概要	論理的な文章を客観的に理解する能力と，文学的な文章を読解し鑑賞する能力を育成する。						
授業の進め方・方法	・講義と，それについての課題を課す。 ・適宜，宿題やノート提出を課すので，期限に遅れず提出すること。						
注意点	<成績評価> 試験（80％）および課題など（20％）の合計100点満点で（A-1）を評価し，合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 <オフィスアワー> 一般科棟3階の教員室にお越しください。 <先修科目・後修科目> 先修科目は基礎国語Ⅱ，後修科目は実践国語，日本文学。 <備考> 意見や感想の表明などは，授業または提出物などで適宜行う。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		本科目の目的，授業の進行について理解する。		
		2週	評論①-1：鷲田清一「自他の『間あい』」		論理的文章を正しく音読できる。		
		3週	評論①-2：鷲田清一「自他の『間あい』」		筆者の考えと一般論を区別する。		
		4週	評論①-3：鷲田清一「自他の『間あい』」		具体例と抽象的な論理を区別できる。		
		5週	評論②-1：森田良之「『私』中心の日本語」		文章の構成に従い，段落分けをすることができる。		
		6週	評論②-2：森田良之「『私』中心の日本語」		筆者の主張を理解し，文章の論理展開を理解する。		
		7週	評論②-3：森田良之「『私』中心の日本語」		接続詞の使用に着目し，論理を展開する方法を理解する。		
		8週	評論②-4：森田良之「『私』中心の日本語」		文章の論理展開を理解した上で，文章を要約する。		
	2ndQ	9週	小説①-1：中島敦「山月記」		文学的文章を正しく音読できる。		
		10週	小説①-2：中島敦「山月記」		登場人物の心理を，本文に即して読み取ることができる。		
		11週	小説①-3：中島敦「山月記」		作品の主題を理解し，それに対して自分なりの意見を考え，述べるることができる。		
		12週	評論③-1：清岡卓行「手の変幻」		文章のキーワードを理解することができる。		
		13週	評論③-2：清岡卓行「手の変幻」		文章の主題を理解し，挙げられた具体的事例の適切さを考えることができる。		
		14週	評論③-3：清岡卓行「手の変幻」		筆者の主張に関わる，身近な事例を挙げることができる。		
		15週	まとめと復習		これまでの学習を振り返る。		
		16週	試験		これまでの学習内容が定着する。		
後期	3rdQ	1週	評論④-1：福岡伸一「なぜ多様性が必要か」		論理的文章を正しく音読できる。		
		2週	評論④-2：福岡伸一「なぜ多様性が必要か」		引用などの説得力を上げるための筆者の工夫を理解する。		
		3週	評論④-3：福岡伸一「なぜ多様性が必要か」		筆者の主張を批判的に検討することができる。		
		4週	小説②-1：安部公房「棒」		作品に描かれている心理と情景を読み取ることができる。		
		5週	小説②-2：安部公房「棒」		文学作品における修辞を理解する。		
		6週	小説②-3：安部公房「棒」		文学作品に対し，自分なりの解釈・感想を持ち，他者にそれを説明できる。		
		7週	詩①-1：萩原朔太郎「風船乗りの夢」		韻文作品を正しく音読できる。		

		8週	詩①-2：宮沢賢治「永訣の朝」	詩のテーマと表現の関係を理解する。 修辞の役割を理解し、使用することができる。
	4thQ	9週	評論⑤-1：野矢茂樹「言語が見せる世界」	文章のキーワードを理解することができる。
		10週	評論⑤-2：野矢茂樹「言語が見せる世界」	比較による文章展開を読み解くことができる。
		11週	評論⑤-3：野矢茂樹「言語が見せる世界」	文章の論理展開を踏まえ、筆者の主張を要約することができる。
		12週	評論⑥-1：丸山真男「『である』ことと『する』こと」	文章のキーワードと論理展開を理解できる。
		13週	評論⑥-2：丸山真男「『である』ことと『する』こと」	文章の主張に関係する、具体的事例を自ら挙げることができる。
		14週	評論⑥-3：丸山真男「『である』ことと『する』こと」	筆者の主張を批判的に検討することができる。
		15週	まとめと復習	これまでの学習を振り返る。
		16週	試験	これまでの学習内容が定着する。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0